

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案 (Aグループ優先順位1)		テーマ: 城下町らしさを最大限に表現し、市民にとって安らぎと誇りの場となるような利用価値の高い複合施設。	
活用する	基礎テーマ	条件 (目的)	機能 施設
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
		左記機能を満たすうえで想定される施設等	
	基礎テーマ 緑化 (必須) 付帯テーマ 防災 (選択) 付帯テーマ 行政サービス (選択) 付帯テーマ 歴史・文化 (選択) 付帯テーマ 生涯学習 (選択) 付帯テーマ 賑わい創出 (選択)		
	【基礎テーマ「緑化」について】 ・あやめ、桜等植える花や木を選ぶこと。 ・年齢を問わず、市民、来街者へ安らぎや憩いを与えること。	見通しの良い植林。 夜間の安全、防犯のための照明等が必要。	・「森」というより「植栽」というイメージの見通しの良い緑地形成。 ・適切な配置による夜間照明。 ・周囲の土居を復元(復興)し、法面に花菖蒲を植える。
	【付帯テーマ「防災」について】		
	【付帯テーマ「行政サービス」について】		
	【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・本丸との一体的な活用を図ること。 ・歴史文化に限らず、美術品などの展示が出来ること。	史実に忠実な復元もしくは復興を行い、本丸及び当該地の歴史的資産価値を高める。 施設は各付帯テーマにおいて、それぞれ複合利用をできること。	【特記事項】 武家屋敷の早期復元が望まれるが、場所については当該地周辺も含め、文化財調査審議会等の専門機関の意見を聴取し決定すること。
	【付帯テーマ「生涯学習」について】 ・当該地にふさわしく、城下町らしい生涯学習の構築により市民文化の向上に寄与する。	新発田藩は好学な藩として有名なので、積み重ねてきた文教遺産を生涯学習に活用する。	・「道学堂」(新発田藩の藩校)の再興。 ・IT化対応の大・中・小会議室を設置。 学生(試験時勉強)のためのデスクを確保する。 ・既存施設はコア・ミュ・ジウム(核施設)当該地の施設をサテライトミュ・ジウム(衛星施設)と位置付ける。
	【付帯テーマ「賑わい創出」について】 ・中心市街地の活性化・商店街の活性化を図る。 ・歴史を生かした城下町らしいイベントの開催により観光振興に寄与する。 ・上記に関連して、駐車場スペースは <b>充分取るのみ</b>	当該地における新発田藩の記録を検証し活用する。 地域交流センターでイベントを行う際には、当該地駐車場を供する。(その反対も有る) 上記補足:文化会館行事の際の駐車場にも利用する。	・新発田藩参勤交代の大名行列を再現し、表門出発～大手中の門から市街地へ繰り出す。 ・藩主が二の丸で台輪を御覧になった記録があるので、しばた祭りとは別の時期に、当該地～城址公園の間で職人町獅子舞と台輪の巡行を催す。 ・各種コンサート開催。(城下町の雰囲気に沿うもの)

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案 (Aグループ優先順位2)		テーマ: 市民アイデンティティ(同一性)の空間 <span style="color: red;">市民が行きたい、居たくなる、そして安心・安全を与える空間</span>	
活用する	基礎テーマ	条件(目的)	機能 施設
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
		左記機能を満たすうえで想定される施設等	
	基礎テーマ 緑化 (必須)		
	付帯テーマ 防災 (選択)		
	付帯テーマ 行政サービス (選択)		
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)		
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)		
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)		
	【基礎テーマ「緑化」について】 ・防犯についても考えた植林方法で整備すること (防犯性・安全性の問題の解決)	・夜間の安全、防犯のための照明等が必要 ・見通しの良い植林	・適切な配置による夜間照明 ・「森」というイメージよりは「植栽」という見通しの良い緑
	【付帯テーマ「防災」について】 ・災害発生時中心市街地の住民の避難場所(目印) ・災害発生時の防災拠点	・災害対策本部機能(自衛隊と連携)に転用する(ロビー等) ・災害時の情報受発信(安否、インフラ復旧、生活関連) ・自家発電、浄化槽、防火水槽(堀復元等)	通常時は市民が交流できる談話室やゆったり滞在できる広いロビーを有した窓口機能集約施設で、災害発生時は防災拠点となる(及び駐車場)
	【付帯テーマ「行政サービス」について】 ・市民生活と社会福祉等に限定したサービスを提供する施設とすること (書類提出手続が必要なものを一箇所に集約した方が便利)	・窓口業務の集約が必要	
	【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・歴史・文化は生涯学習の要素を踏まえたものとする ・美術品等の展示ができるものとする(現在の所蔵物の保存、企画展による文化の向上) (市民文化の向上)	・展示スペース、広いロビー等が必要	
	【付帯テーマ「生涯学習」について】		
	【付帯テーマ「賑わい創出」について】		

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案( Aグループ優先順位3 )		テーマ: 新発田に自信を持ち、新発田の文化・歴史・自然に自信を持ち、新発田に暮らす自分自身に自信を持つために		
活用する	基礎テーマ 緑化 (必須)			
	付帯テーマ 防災 (選択)			
	付帯テーマ 行政サービス (選択)			
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)			
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)			
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)			
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件 (目的)	機能 施設	
			左記条件を満たすために必要な機能	
【基礎テーマ「緑化」について】			左記機能を満たすうえで想定される施設等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>維持費用がかかるため、その額を減少させる努力と賑わい創出に関連させた収入があること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>桜やあやめなど季節の花を中心に植える 見物客向けの出店等による使用料で維持費捻出 (植栽するものについても専門家で検討し、気候条件・歴史背景・にぎわいが創出できるもの選定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あやめや桜が有力ながらも植物専門家・歴史研究者による検討も必要</li> </ul>	
【付帯テーマ「防災」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>通常時の有効利用も考慮すること</li> <li>避難場所としての役割もあること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>通常時は観光スポット・憩いの場としてのお堀</li> <li>水害時の調整池の役割・災害時にはお堀の水をくみ上げ仮設トイレの水洗利用</li> <li>大型バス・来場者用駐車場を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史実に基づきながら櫓・門・堀・石垣そして武家屋敷の復元</li> <li>学芸員のいる歴史博物館(常設展示と企画展示の併設)</li> <li>城下町モール(飲食物販ゾーン)の常設</li> <li>大型バス・来場者用駐車場の整備</li> </ul>	
【付帯テーマ「行政サービス」について】				
【付帯テーマ「歴史・文化」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>街のシンボルとして城下町の復活を主たる目的にすること (新発田独自のプランニングの成立)</li> <li>復原のためのコストをどのようにして用意するか検討すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の史跡を中心としながらも、史実に基づいたあらたな復元</li> <li>公私がもっている歴史的財産を見せる工夫・知らせる工夫・集める工夫</li> <li>関連制度の精査(歴史まちづくり法・まちづくり交付金・公立の登録博物館対象の補助金等)</li> </ul>		
【付帯テーマ「生涯学習」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新発田の歴史・文化を学ぶことにより、市民としての自信と誇りをもつことができるようにすること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>派手さや大きさはないものの、多数ある全国に誇れる新発田の歴史や文化を学習・または再認識できるような復原と施設</li> <li>各種資料の他に体験学習(伝統文化・技術・遊びなどを体験)や視聴覚ホール(文化財等映像作品や台輪・あやめなど季節の行事の上映・講演会・講座などを開催)</li> <li>学芸員の存在が必須(資料の収集、保管、展示及び調査研究と企画展示)</li> <li>( 展覧会中は、企画・運営・接客対応しながら次の展覧会の展開を練り、終わり次第の展示を即座に開始し、その間にも常設の内容を微妙に変える)</li> </ul>		
【付帯テーマ「賑わい創出」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興・産業振興に寄与するよう史実に基づいたイベントを季節ごとに実施できるようにすること</li> <li>常設の飲食物販ゾーンは民間出店によるモール型にすること( 観光振興・産業振興に寄与)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(市民大茶会・輿入れ(結婚式)・参勤交代行列・端午の節句...等)</li> <li>モール型にすることにより、賃貸料から一帯の維持管理費を捻出</li> </ul>		

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案( Bグループ優先順位1)		テーマ: 菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい緑化	
活用する	基礎テーマ 緑化 (必須)	付帯テーマ 防災 (選択)	付帯テーマ 行政サービス (選択)
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)	付帯テーマ 生涯学習 (選択)	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件 (目的)	機能 施設
		左記条件を満たすために必要な機能	
		左記機能を満たすうえで想定される施設等	
【基礎テーマ「緑化」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院跡地にある歴史ある樹木を大切にすること</li> <li>・菖蒲城と言われてきた場所、また市の花であるアヤメを植栽すること</li> <li>・新発田市、豊浦、紫雲寺、加治川地区の花木、友好都市の花木を植え、交流発展の証とする</li> <li>・新発田らしさを念頭に、四季や景観を含め、全てのテーマにおいてバランスの良い緑化とする</li> <li>・新しい発想をとり入れた緑化を推進する(花壇、雪囲い等のコンクール開催等のスペース確保)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸軍病院時代からある樹木(女帝の木など)や謂れやエピソードのある樹木を調査し説明や案内を加えて生かし、菖蒲城と言われてきた歴史を裏切らない、お城(表門)とアヤメを中心とした、調和のとれた歴史を感じ、心安らぐ景観</li> <li>・四季の彩りを地区(合併前の町、村)や友好都市の花木でつくる 春 = 桜、梅、芝桜、桜草、レンギョウ、レンゲツツジ 夏 = アヤメ(花菖蒲)、紫陽花、ムギゲ 秋 = コスモス、菊 冬 = 松(雪つり、雪囲い)</li> <li>・植物に関心を持てるような発表の場所としてのエリアを確保する(市民活用)</li> </ul>	
【付帯テーマ「防災」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化を損なわないようにすること</li> <li>・日常時・非常時ともに有効利用すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常</li> <li>・蔵(歴史景観建造物) = 防災</li> <li>・樹木(緑化) = 食料備蓄</li> <li>・堀、釣堀、ハス = 防火林、燃料</li> <li>・伝統野菜畑(新発田野菜) = 貯水、洪水防止、食料(魚、レンコン等)</li> <li>・休憩所、トイレ、景観建造物 = 食料</li> <li>・天候に関係なくあるけるスペース = 避難所機能も想定</li> </ul>	
【付帯テーマ「行政サービス」について】			
			別紙参照
【付帯テーマ「歴史・文化」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継承という要素を取り入れること</li> <li>・他史跡との連携・既存の文化財の活用(今ある歴史の保護)ができ、城との一体感を損ねないものとする</li> <li>・費用対効果を考慮し市民の理解を得られるものとする</li> <li>・身近で親しみやすい場所とすること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田城(文化財の表門)が中核として生きる景観を前提とした設計。</li> <li>・城址公園と別々にせず、一体化するには、表門前から城址公園に繋がる道路をルート変更し連続性をもたせる機能が必要。寺町他歴史景観の連続性をもつ機能を構築する</li> <li>・歴史的価値と将来性を考えると白壁兵舎は、城に横に移さず、旧新潟大学分校校舎などとともに、現状の位置で残し、明治、大正、昭和の歴史(軍隊、戦争、自衛隊の歴史)に特化した資料館や自衛他の広報を行い、将来的には、三階櫓公開を含め常に公開可能にする。当該地は、藩政(医学もふくめ)、人物、伝承文化等に特化し、他史跡とも連携はかる</li> </ul>	
【付帯テーマ「生涯学習」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設との重複に気をつけること</li> <li>・交流と実践の場として活用を図る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・凧(イカ)づくりなど、昔の遊びの伝承や江戸時代遊具を学び、作成し、遊んでもらう等の伝承、実践が出来る機能をゆうする</li> <li>・小正月の飾り、魔除けの藁細工等、行事、風習の伝承と展示の機能を有する</li> <li>・商高と農高で直売所経営をする等、交流や学校教育の実践の場としての機能をゆうする</li> <li>・料亭や和菓子文化を味覚として体験できる飲食店や茶店の伝承機能を有する(日替わり等、シェフ、料理人、和菓子職人来ていただく。又は日替わり弁当や御菓子等)</li> </ul>	
【付帯テーマ「賑わい創出」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民へ配慮(交通アクセス等の便宜)すること</li> <li>・イベントに限らず、ただ公園として自由に見ることも良い</li> <li>・歴史・文化を損なわないこと(歴史・文化を利用した観光)</li> <li>・歴史・文化と無関係(何でも良い)なイベントは排除すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞をつくらないための解りやすい案内板やガイドの作成、交通網、交通機関の整備。</li> <li>・駐車場の確保(高齢者、施設車両優先エリア等も含む)</li> <li>・黙っていても見に行きたくなる景観の緑化を図り、天候にも配慮し人が自然に集まる景観に配慮した休憩場所、飲食、物産(高齢者や幼児も想定)もあり、新発田の情報が集まる</li> <li>・人が集まる緑化機能(日本一の菖蒲城、雪吊りと白鳥の新発田城等)と、イベントや宣伝</li> <li>・防犯やゴミの捨てにくい見渡しのよい環境や防火対策</li> </ul>	

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案( Bグループ優先順位2)		テーマ: 菖蒲城と呼ぶにふさわしい城前庭園と歴史・文化・四季・風情を感じ、心潤い安らぎ、自然に足を運びたい緑化	
活用する	基礎テーマ	緑化 (必須)	
	付帯テーマ	防災 (選択)	
	付帯テーマ	行政サービス (選択)	
	付帯テーマ	歴史・文化 (選択)	
	付帯テーマ	生涯学習 (選択)	
	付帯テーマ	賑わい創出 (選択)	
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的)		条件 (目的)	機能 施設
転記		左記条件を満たすために必要な機能	
左記機能を満たすうえで想定される施設等			
【基礎テーマ「緑化」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院跡地にある歴史ある樹木を大切にすること</li> <li>・菖蒲城と言われてきた場所、また市の花であるアヤメを植栽すること</li> <li>・新発田市、豊浦、紫雲寺、加治川地区の花木、友好都市の花木を植え、交流発展の証とする</li> <li>・新発田らしさを念頭に、四季や景観を含め、全てのテーマにおいてバランスの良い緑化とする</li> <li>・新しい発想をとり入れた緑化を推進する(花壇、雪囲い等のコンクール開催等のスペース確保)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸軍病院時代からある樹木(女帝の木など)や謂れやエピソードのある樹木を調査し説明や案内を加えて生かし、菖蒲城と言われてきた歴史を裏切らない、お城(表門)とアヤメを中心とした、調和のとれた歴史を感じ、心安らぐ景観</li> <li>・四季の彩りを地区(合併前の町、村)や友好都市の花木でつくる 春 = 桜、梅、芝桜、桜草、レンギョウ、レンゲツツジ 夏 = アヤメ(花菖蒲)、紫陽花、ムギゲ 秋 = コスモス、菊 冬 = 松(雪つり、雪囲い)</li> <li>・植物に関心を持てるような発表の場所としてのエリアを確保する(市民活用)</li> </ul>	
【付帯テーマ「防災」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化を損なわないようにすること</li> <li>・日常時・非常時ともに有効利用すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>日常</li> <li>・蔵(歴史景観建造物) = 防災</li> <li>・樹木(緑化) = 食料備蓄</li> <li>・堀、釣堀、ハス = 防火林、燃料</li> <li>・伝統野菜畑(新発田野菜) = 貯水、洪水防止、食料(魚、レンコン等)</li> <li>・休憩所、トイレ、景観建造物 = 食料</li> <li>・天候に関係なくあるけるスペース = 避難所機能も想定</li> </ul>	
【付帯テーマ「行政サービス」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業が対応しきれない部分(チャレンジショップ等貸し出し、広報紙の活用など)を行政がカバーすること</li> <li>・観光案内、行政案内(例: 広報誌・案内板)の役割を果たすものとする(歴史を活かした行政の実現、観光も含めた行政サービスのモデル)</li> <li>・市民サービス向上システムを再構築(総合案内の設置等)すること</li> <li>・景観にそぐわない建物は建てないこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食店等を出店したい人が、チャレンジショップを通じ、期間限定で出店を試み生の意見を聞けたり、その後の方向性への支援を商店街活性化を含めた機能をゆうする行政</li> <li>・当該地近隣の企業(JA・営林署等)などへの協働PR館や地元企業のノウハウを生かした協働を含め、町作りのための連携を図る機能を有する行政。</li> <li>・歴史・人物・建造物・樹木・工芸品等の謂れやエピソードを発掘収集し生かす行政</li> <li>・案内標識、ガイドマップ、交通網、宣伝、歴史的関連のある他市町村との連携を生かす行政</li> <li>・将来への機能分化(ネット利用)や他の施設のありかたも含めた、当該地の窓口システムの構築機能</li> </ul>	別紙参照
【付帯テーマ「歴史・文化」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継承という要素を取り入れること</li> <li>・他史跡との連携・既存の文化財の活用(今ある歴史の保護)ができ、城との一体感を損ねないものとする</li> <li>・費用対効果を考慮し市民の理解を得られるものとする</li> <li>・身近で親しみやすい場所とすること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田城(文化財の表門)が中核として生きる景観を前提とした設計。</li> <li>・城址公園と別々にせず、一体化するには、表門前から城址公園に繋がる道路をルート変更し連続性をもたせる機能が重要。寺町他歴史景観の連続性をもつ機能を構築する</li> <li>・歴史的価値と将来性を考えると白壁兵舎は、城に横に移さず、旧新潟大学分校校舎などとともに、現状の位置で残し、明治、大正、昭和の歴史(軍隊、戦争、自衛隊の歴史)に特化した資料館や自衛他の広報を行い、将来的には、三階櫓公開を含め常に公開可能にする。当該地は、藩政(医学もふくめ)、人物、伝承文化等に特化し、他史跡とも連携はかる</li> </ul>	
【付帯テーマ「生涯学習」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設との重複に気をつけること</li> <li>・交流と実践の場として活用を図る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・凧(イカ)づくりなど、昔の遊びの伝承や江戸時代遊具を学び、作成し、遊んでもらう等の伝承、実践が出来る機能をゆうする</li> <li>・小正月の飾り、魔除けの藁細工等、行事、風習の伝承と展示の機能を有する</li> <li>・商高と農高で直売所経営をする等、交流や学校教育の実践の場としての機能をゆうする</li> <li>・料亭や和菓子文化を味覚として体験できる飲食店や茶店の伝承機能を有する(日替わり等、シェフ、料理人、和菓子職人に来ていただく。又は日替わり弁当や御菓子等)</li> </ul>	
【付帯テーマ「賑わい創出」について】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民へ配慮(交通アクセス等の便宜)すること</li> <li>・イベントに限らず、ただ公園として自由に見ることも良い</li> <li>・歴史・文化を損なわないこと(歴史・文化を利用した観光)</li> <li>・歴史・文化と無関係(何でも良い)なイベントは排除すること</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞をつくらないための解りやすい案内板やガイドの作成、交通網、交通機関の整備。</li> <li>・駐車場の確保(高齢者、施設車両優先エリア等も含む)</li> <li>・黙っていても見に行きたくなる景観の緑化を図り、天候にも配慮し人が自然に集まる景観に配慮した休憩場所、飲食、物産(高齢者や幼児も想定)もあり、新発田の情報が集まる</li> <li>・人が集まる緑化機能(日本一の菖蒲城、雪吊りと白鳥の新発田城等)と、イベントや宣伝</li> <li>・防犯やゴミの捨てにくい見渡しのよい環境や防火対策</li> </ul>	

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案( Bグループ優先順位3 )		テーマ: 観光名所になるよう公園の整備及び緑化 <span style="color: red;">観光客を呼べるほどのアヤマメ公園及び緑化</span>		
活用する	基礎テーマ 緑化 (必須)	あやめや桜の公園		
	付帯テーマ 防災 (選択)			
	付帯テーマ 行政サービス (選択)			
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)	新発田の歴史・文化を踏まえたもの、景観にマッチしたものが良い		
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)			
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)	緑化によって、賑わいを創出する(観光振興)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		条件(目的) 機能 施設	左記条件を満たすために必要な機能	左記機能を満たすうえで想定される施設等
【基礎テーマ「緑化」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント開催(花祭り・緑化祭)できるほどの緑化とすること</li> <li>桜・アヤマメに限定するなど特化した緑化を行うこと (歴史的背景も踏まえつつアヤマメ等の花を植えること)</li> <li>維持管理のコスト</li> </ul>		デザインされた緑化計画をすること (専門家にデザインを依頼するのも良いと思います) イベント開催のイベントの内容を市民から募集する 市民団体や一般市民の協力を得て維持管理してゆく方法をあらかじめ検討しておいたら良いと思います。		例えば 日本庭園のようなアヤマメ園 (アヤマメ以外のスペースを確保する)
【付帯テーマ「防災」について】				
【付帯テーマ「行政サービス」について】				
【付帯テーマ「歴史・文化」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新発田城と一体感を感じるものとする</li> </ul>		新発田城に隣接する道路・歩道も含め、出来る限り、新発田城とマッチした景観に整備すること		新発田城に映えるアヤマメ園
【付帯テーマ「生涯学習」について】				
【付帯テーマ「賑わい創出」について】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場を設けることにより近隣住民への迷惑がかかる可能性がある</li> <li>新発田城の位置が、特に市外からのお客様にとって分かりづらいため不便</li> </ul>		駐車場を設ける位置について配慮が必要 道路案内やサイン等看板の整備		道路案内標識 利用者の駐車場を設ける

# 整備イメージ検討シート

基本テーマの組み合わせ案(Cグループ優先順位1)		テーマ: 緑と歴史・文化を背景とした誰もが利用できる美しい複合施設 / お金のとれる緑地100年記念新発田城公園	
活用する	基本テーマ	条件(目的)	機能 施設
	基礎テーマ 緑化 (必須)		
	付帯テーマ 防災 (選択)		
	付帯テーマ 行政サービス (選択)		
	付帯テーマ 歴史・文化 (選択)		
	付帯テーマ 生涯学習 (選択)		
	付帯テーマ 賑わい創出 (選択)		
基本テーマの組み合わせ検討を通じて付された条件(目的) 転記		左記条件を満たすために必要な機能	
【基礎テーマ「緑化」について】 ・維持管理費、コストを考慮に入れる		<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理の手間や費用がかかりにくい植栽を</li> <li>・防犯性、安全性にも考慮し、見通しの良い植林とする(多く植林しないことによるコスト削減にもなる)</li> <li>・夜間の安全や防犯のため、そして憩いの場や観光目的でも照明(ライトアップ)必要</li> <li>・照明の効果的なプランニングや光源の選択によりコストダウンをはかる</li> <li>・ランニングコストを抑え、環境にも配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>憩いの庭というイメージ</li> <li>見通しが良く、遊歩道、ベンチ、オブジェ等がある</li> <li>記念樹等(寄付・提供)</li> <li>花壇(コンクール等できるもの)</li> <li>右側全体を緑地帯</li> </ul>
【付帯テーマ「防災」について】 ・避難場所 ・水害(調整池)、火災(防火用水)、地震(仮設用水、飲用水)に対応 ・自衛隊との連携 ・通常は駐車場 ・備蓄(毛布、食糧)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常は緑化&amp;駐車場(大型も入れるもの)</li> <li>・「水」の設備を備える(景観を損なわず、いざという時転用できる)</li> <li>・避難場所は屋外、屋内を想定</li> <li>・備蓄品は施設の中に</li> <li>・防火用水を兼ねた堀</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水を上手く利用できる設備・施設</li> <li>例:東京国立博物館 法隆寺宝物館</li> </ul>
【付帯テーマ「行政サービス」について】 ・管理機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常は観光案内、施設案内、及び管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 + 美術館 + 市民スペース</li> <li>(企画やレンタルもできる)</li> <li>ミュージアムショップ、地場物産、おみやげ(新発田&amp;県内)</li> <li>飲食(カフェレストラン)</li> <li>誰もが利用できるゆったりしたロビー</li> <li>等を備えた施設</li> </ul>
【付帯テーマ「歴史・文化」について】 ・歴史・文化を知る、紹介する 郷土愛、観光につながる ・(生涯)学習的なものにつなげる 学びの場の創出 ・現代の文化についても扱う アート、(若者の)表現の場 郷土のアーティストにスポットをあてる		<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の下越全体の歴史展示+現在のアートや美術品展示+企画を行えるスペース</li> <li>・常設+企画 企画スペースはレンタルもでき、市民や市民以外でも利用できる</li> <li>・常設、企画とも充実させ、リピーターもねらう</li> <li>・PRを的確に行う</li> <li>・開かれた施設 開館時間は7~8時くらいまでと、季節に応じて定める 仕事帰りでも利用できる(コストを考慮したうえで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただし景観を損ねない建物とする</li> <li>緑化とも一体化して美しい</li> <li>運営には市民やボランティアも多く関わる</li> <li>建設費が懸念されるが、市民としての誇りが持て、次世代にも残せる、しっかりしたものを作る</li> <li>一度に完成しない可能性も</li> <li>一期工事、二期工事...と</li> </ul>
【付帯テーマ「生涯学習」について】 ・歴史・文化に関するものを中心に		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、文化の施設を見ることによる学び</li> <li>・観光客、市民、学生に対して下越・新発田の長い歴史文化、生活様式などを学習してもらう</li> <li>・ミニセミナーやミニ講演会などが可能な多用途なスペース</li> </ul>	
【付帯テーマ「賑わい創出」について】 ・イベント開催(採算のとれるもの)やタイアップ企画 ・観光、物販、飲食 ・憩いの場(散歩コースなど) ・サイン、看板、誘導などを充実 ・自由に使う		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内、外で行える</li> <li>・主体が様々でも積極的にイベント等開催できるしくみづくり</li> <li>・リピーターをねらえるような好感度の賑わい演出</li> <li>・対応の良さ、サービス などのソフト面</li> <li>・駐車場の充実、バリアフリー(車椅子やベビーカーでも問題なく来れて利用できる)、トイレがきれいといった、設備面(ハード面)の充実</li> </ul>	